



お手に取って頂き心から
感謝いたします。

牛くぼひさし

市政報告 2022 夏号

令和4年度一般会計補正予算（第3・4・5号）	第3号	12億8735万円増	第5号	7億万9803万8千円増
	第4号	4億2880万8千円増	（補正後予算額1207億7576万7千円）	

主な内容	第3号	主な内容	第5号
<p>○特定世帯等臨時特別給付金給付事業 生活困窮世帯を支援するため、令和4年度に新たに住民税均等割非課税世帯となった世帯に対して、1世帯当たり10万円を給付する。</p> <p>○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 低所得の子育て世帯に対して、児童1人当たり5万円を支給する。</p>	<p>○ふるさと納税返礼品等のPR業務等 本市の特産品の魅力をさらに発信するために、雑誌や動画などの広告を活用するとともに寄付金収入の増額を目指す。</p> <p>○ひとり親家庭等医療費の現物支給 ひとり親家庭等医療費について、令和5年1月から県内の医療機関窓口での現物給付を図る。</p> <p>○キャッシュレス決済およびセミセルフレジの導入 現金の受け渡しによる接触機会の減少や利便性の向上を図るため、市民窓口や観光施設においてキャッシュレス決済およびセミセルフレジの導入する。</p>	<p>○給食食材費等高騰対策 食材費等の高騰の影響を受ける給食について、質や量を保った給食の提供ができるよう対応する。</p> <p>○農業者等への農業経営継続支援金 肥料価格等の高騰により不安定な経営となっている市内農業者等に対して支援金を交付する。</p> <p>○公共交通事業者への事業継続支援金 燃料価格等の高騰により厳しい経営状況が続いている公共交通事業者に対して支援金を交付する。</p> <p>○プレミアム付電子商品券の発行 【発行総額等】 10万口 13億円 【販売額等】 1口 10,000円 （電子商品券額面13,000円） 【券種内訳】 共通券【10,000円分】 →全加盟店舗で使用可能 専用券（3,000円分） →中小規模店舗でのみ使用可能 【購入可能口数】 1人3口まで（市内在住者に限る）</p>	

6月議会一般質問 コロナ禍での市制施行100周年事業者の開催について（小江戸川越花火大会・小江戸川越ハーフマラソン大会）

質問：小江戸川越ハーフマラソン大会や小江戸川越花火大会が市制施行100周年記念にふさわしい大会として催されるためにどのような配慮をしているのか。

回答 小江戸川越ハーフマラソン大会：新型コロナウイルス感染症への感染対策やコース上の安全を確保し、参加者や観戦者等が安心して参加できる大会を行う。今大会は、各種目に、総合順位で「100」が付く方に記念品を贈ることや、参加者の川越市民優先枠を前回大会の1割から3割にすることを予定し、これらの試みにより、100周年記念となる、今大会を、盛大に開催したい。

回答 小江戸川越花火大会：今後の新型コロナウイルスの感染状況により、花火大会運営の方法が変更になることも想定されるが感染防止対策に配慮しながら、皆様の記憶に残るような100周年記念の花火大会を出来る限り、盛大に開催したい。

6月議会一般質問 子どもたちを取り巻く諸問題について

質問：今後、本市の小・中学校における、子どもたちの学力や体力を伸ばすための方策について伺う。

回答 学力をのばすためには、学級規律を確立するとともに、安心して発言ができ、学び合える学習環境を整え、授業においては対話的・協働的な学びを作る活動を取り入れ、児童生徒数の学ぶ意欲と自己肯定感を高めることが大切であると考えている。

また、本市の一番の方策であります「川越市小・中学生学力向上プラン」において、子どもと教師が双方向で進める授業の展開を示した「川越授業スタンダード」をすべての教科で取り組み、本年度は「深化」・充実を図っている。

体力については、この2年間、新型コロナウイルスの感染対策により、体力低下を懸念しているところですが、川越市教育振興基本計画に基づき、進んで運動を親しみ、基礎的な体力づくりに取り組める児童生徒の育成を図っている。

具体的には、体育の授業において、運動量を確保することで、基礎的な体力をつけることができるよう取り組んでいる。

また、校長、教諭等から構成する児童生徒体力向上推進委員会を組織し、授業における体力向上の在り方を研究し、その結果を各学校への周知している。

さらに、小学校における日常の外遊びや中学校における部活動も体力向上に欠かせないものであると考えております。

質問 今後、子どもたちの自己肯定感を伸ばすために、どのように指導していくのか伺う。

回答 自己肯定感とは、自分の在り方を積極的に評価できる感情であり、自らの価値や存在意義を肯定できる感情などを意味します。子どもたちの自己肯定感を高めるには、学級や集団への所属感や連帯感を深めることが重要だと考えております。

具体的には、一人一人の子どもたちに役割を待たせたり、学校行事における体験的な活動を行ったり、児童生徒理解を基に、子どもたちの良さを伸ばす指導を行っております。



現在川越で一番人数の多い小学校で運動場の狭さや、人数が多すぎることに、他の学校等と比べて、子供の能力に差があつてはいけないと思ひ、川越市で一般質問いたしました。

現在全国に50万人を超える学校に行きづらい小中学生がいます。今、文部省は「学校に行かないのは子供が悪い」とはとらえていません。私は、子供たちの「生きづらさ」に危機感を感じています。

学校規模の大小や人数の多い少ないによって問題が起きているわけではありませんでした

満点取らないとダメ人間？

私なんてどうせ…

私ほどダメな人間はない

私は他の人よりできが悪い

私は社会に必要とされない…



自己肯定感の低い子供たちがとても多い。自分なりの喜び、幸せ、楽しみ得意なもの、優しさや、強さ。



多様性を認められる社会にして行きたいと私は思っています。

牛くぼひさしプロフィール ～『子育て+介護』世代、誰もが住んでよかったと思える地域づくり～

- 昭和51年9月14日生まれ 柔道五段
- 私立八千代松陰高等学校卒業 井上康生と柔道関東大会決勝戦にて僅差判定で敗れる
- 明治大学商学部商学科卒業 全日本学生柔道優勝大会 明治大学団体戦優勝
- 京葉ガス株式会社入社 実業団柔道で活躍
- 京葉ガス株式会社退社 結婚し川越市民となり全盲の両親と同居
- 全盲の市議会議員牛窪多喜男の秘書を務めながら柔道整復師国家資格取得
- 2019年川越市議会議員に初当選
- 保健福祉常任委員会（副委員長）

※子供一男一女に恵まれながら現在6人家族+（盲導犬：ジョージ）

事務所

〒350-0027

住所 川越市南田島242-1

電話 049-243-9425

ホームページ ushikubo-hisashi.com

牛くぼ ひさし

検索